

広島市植物公園 見どころ案内

オオシマノジギク (キク科)

オオシマノジギクは奄美諸島に自生する野菊。海岸に自生する野菊の中で最も南に分布しています。咲き始めです。

クリスマス飾る フラワー展

ポインセチアやクリスマスベゴニア、クリスマスローズなどクリスマスシーズンに見られる花と装飾を展示しています。

- 皇帝ヒマワリ
- チャパンセンニン
- ウナスキヒメフヨウ、パボニア・グレヒリー
- 桃色イペー、ムラサキソシンカ
- センリョウ(千両)、マンリョウ(万両)

バルボフィルム

エリザベスアン'バックルベリー'
(ラン科)

独特の花姿はまるでカニのむき身のように。バルボフィルムは、多様な品種があり、花姿や臭いも変化に富んでいます。

レモン (ミカン科)

広島県が生産量日本一(2018年時点のシェアは約5割)の柑橘類です。大温室前では、他にも色々な種類が実っています。

ツクバネ

(ビャクダン科)

日本に分布する唯一のビャクダン科植物で、モミなどの樹木に半寄生します。果実が羽根つきの羽に見えることから、和名は「衝羽根(つくばね)」

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (12/4~12/26)
植物公園コレクション展
- ◇展示温室 (11/20~12/25)
クリスマス飾るフラワー展

グランサムツバキ (ツバキ科)

香港原産のツバキ。白い大きな花に黄色の雄しべが目立ち、色も大きさも目玉焼きのように見えます。

キジユ (ヌマミズキ科)

中国南部原産の落葉高木。生育旺盛で種子をたくさんつけるので、「喜樹」という縁起の良い和名がつけられています。

ユズリハ (ユズリハ科)

新葉が開く前に古い葉を落とし、次世代に譲ることから、この名前がついています。

アメリカヒイラギ

(モチノキ科)

ヒイラギとありますが、クリスマスでおなじみのホーリー(モチノキ)のなかまで、雌の木には赤い実をつけています。

コロラドトウヒ

'フープシー' (マツ科)

銀白色の葉が美しいコロラドトウヒの園芸品種で、ホプシーとも呼ばれます。近縁種のドイツトウヒとあわせてクリスマスツリーの原木にも用いられます。大きな球果が枝先に多数ついています。

